

# 伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



か し き がた  
菓子木型

い どうちょうじゅ  
二代目型蝶 伊藤長壽

(平成16年度作品)

16分 映画・ビデオ  
カラー・25分

## プロフィール

住所、荒川区南千住3-17-8

昭和11年(1936)、宮城県生れ。

平成15年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される。

伊藤さんは15歳で上京し、上野車坂の配野長左衛門(初代型蝶)氏に師事する。14番目の弟子として修業を始め、親方の配野氏の下に住み込み、菓子木型づくりにあたった。

昭和49年、現在地に移り住む。昭和53年に独立。配野氏の他の弟子はみな廃業したが、伊藤さんは現在も仕事を続けている。

菓子木型とは、和菓子を成型するさいに使う道具で、江戸時代に入り、専門の菓子木型を製作する職人が現れたといわれる。

菓子木型には、おもに一枚板(只型)と二枚合わせの木型があり、厚みのある菓子を作るときには、二つが対になった二枚合わせの木型を使う。

伊藤さんは、鑿のみを使って花や動物などの様々な図案をリズムカルに彫っていく。

材料には本桜材を使い、月餅・落雁・羊生などの木型を彫る。注文は菓子メーカーや道具屋から入る。完成した作品は緻密な作りで、想定した菓子の重さピッタリにできあがる。道具としての使いやすさは勿論だが、見た目にも美しい作品である。

現在、菓子木型の職人は都内でも数少なく、貴重な存在である。

企 画 著 作 荒川区教育委員会 制 作 株式会社文化工房

## 用具・工具・材料

机、あて台、鑿（内丸鑿・外丸鑿・浅刃外丸鑿・外刃深丸鑿・外刃浅丸鑿・丸鑿・平鑿・三角鑿・叩き内丸鑿・叩き外丸鑿／400～500本）、自動糸鋸、鉋、鋸、錐、鑿、金槌、ブラシ、本桜材など。

## 工程 一八寸ハネ鯛（二枚合わせ）の場合一

### (1) 【図案を描く】

- ・図案は、自分で図案起しをするか、注文主から持ち込まれた図案を用いる。3～4回修正後、決定する。

### (2) 【木取り】

- ・材木を型板の大きさに切り、鉋で表面を削る。
- ・木型の上板は「下司板」（菓子の厚みをだすためにくり抜く）、下板は「台」（模様が彫られる）と呼ばれる。
- ・台の両端にダボ竹という突起物を埋め込む穴を開け、ダボ竹を埋め込む。下司板にダボ竹が入る穴を開ける。
- ・下司板と台をダボ竹で合わせ、対にして立体的な菓子の型を作る。

### (3) 【図を木型に描く】

- ・台の部分に描く。

### (4) 【図案を描き写す】

- ・合わさる面に図案を描き写す。この時図案を裏返しにし、カーボン紙を挟んで木型の上下に写す。

### (5) 【模様を彫る（粗彫り・中彫り）】

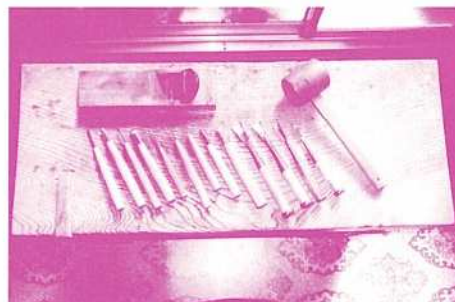
- ・菓子の出来上がりとは反対の図を木型に彫っていく。
- ・粗彫りで全体を彫り、その後、細かな模様を彫っていく。
- ・鑿は400～500本そろえてあり、彫るものによって換えていく。

### (6) 【下司板をくり抜く】

- ・菓子の厚みを出す下司板をくり抜く。菓子が型から抜けやすいように、やや傾斜をつけ、すり鉢状にくり抜く。

### (7) 【仕上げ】

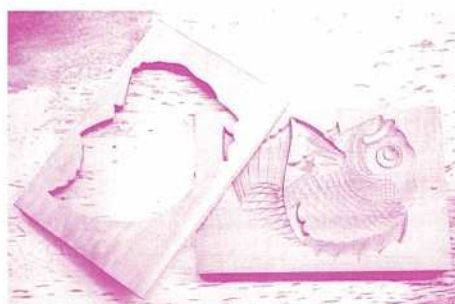
※ひとつを彫り上げるのに2～6日かかる。



(用具・工具)



(粗彫り)



(完成品)

〈ビデオテープ〉 荒川区内の図書館で貸出ししています。貸出し期間は、1回15日間（図書資料扱い）です。

〈16ミリ映画〉 荒川区立南千住図書館で貸出ししています。貸出し期間は、1回5日間です。映写機の貸出しもしています。ただし、団体登録が必要になります。

### 〈問い合わせ先〉

#### ■内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

#### ■ビデオテープ、16ミリ映画貸出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221

町屋図書館・・・3892-9821

荒川図書館・・・3891-4349

日暮里図書館・・・3803-1645

尾久図書館・・・3800-5821

荒川区立図書館のホームページ <http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>